

第6章 ■ 菌類

キノコ



奥根水源の森

菌類と呼ばれる仲間には、カビ、キノコ^{こほ}、酵母があります。これら3つの仲間は、私たちの身の回りのどこにでも存在しています。菌類の仲間には、肉眼では確認できない非常に小さいものも多く存在しています。ここでは菌類のうち肉眼で十分に確認できる、キノコについて取り上げることになります。

群馬県立自然史博物館には、みなかみ町で採集したキノコの標本が386点あります。これらの多くは、群馬県野生きのこ同好会の観察会で採集されたもので、386点の中には同一種もあり、種ごとに整理をすると68科241種になります。これらの標本は、乾燥標本として収蔵されています。

キノコは他の生物から栄養を摂り入れて生活をじゅうぞくえいようせいぶつする従属栄養生物です。241種のキノコを栄養の摂り方からみると、落葉や落枝等を分解する腐生菌^{ふせいきん}が166種、植物の根と菌糸が共生関係にある菌根菌^{きんこんきん}が69種、カメムシタケやハナサナギタケ等の寄生菌^{きせい}が4種、ナガエノスギタケやオオキツネタケ等の動物の糞尿を分解するアンモニア菌が2種です。

腐生菌の166種のうち、エビタケやアシグロタケ等のタマチョレイタケ科のキノコが多く見られます。タマチョレイタケ科のキノコは木材腐朽菌とも呼ば

れ、ミズナラ林やブナ林等のブナ科の樹木の生木や枯木、切株などから生えてくるキノコです。また、ブナ科の樹木から生えるキノコとして、日本固有種であるクチキトサカタケやオオミヤマトンビマイ等の発生も見られます。

特にこの2種は群馬県内の他地域からの発生報告がなく、博物館の収蔵標本もクチキトサカタケが2点、オオミヤマトンビマイが1点のみです。その他、チャツムタケ(所属科未確定)やツガサルノコシカケ(ツガサルノコシカケ科)等のマツやモミ等の針葉樹から生えるキノコも見られます。



クチキトサカタケ(ビョウタケ科)



オオミヤマトンビマイ(ミヤマトンビマイ科)

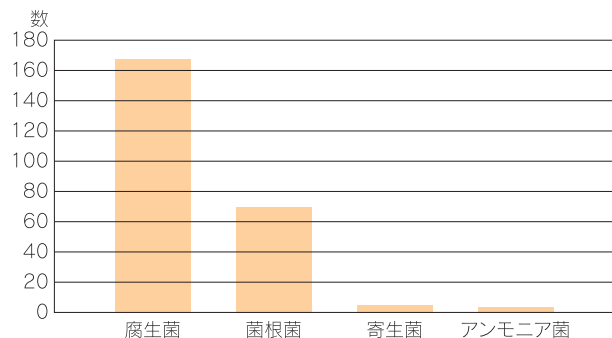


図1 栄養の摂り方からみた「みなかみ町の菌類」

菌根をつくるキノコとしては、アカヤマドリやハナイグチ、オニイグチ等のイグチ科のキノコが多く見られます。アカヤマドリとオニイグチはブナ科の樹木と共生関係にあり、ハナイグチはカラマツと共生関係にあるキノコです。また、テングタケ科のキノコにはカバノキ科と共生関係にあるベニテングタケやブナ科と共生関係にあるコガネテングタケ等様々なキノコが見られます。その他に、ベニタケ科のチチタケやオキナクサハツ等もブナ科と共生関係にあるキノコです。これらの菌根をつくるキノコは、樹木が健全に成長するためには欠かせない存在であり、また樹木があるからこそ存在することができる菌類なのです。

みなかみ町は群馬県内の中でも、ブナ科の広葉樹林を始め、アカマツやカラマツ等の針葉樹林が多くある地域です。そこには、樹木が健全に成長するために欠かせない菌類がいて、枯れた樹木や倒木、落枝などを再び植物が利用できる無機物まで分解する菌類がいます。豊かな森林があるからこそ、そこには豊かな菌類が存在します。私たちは、この豊かな森林を守り、後世に残していかなければなりません。

(篠原克実)



アカヤマドリ(イグチ科)



ハナイグチ(イグチ科)

文中に書かれている種

和名	学名	科名
カメムシタケ	<i>Cordyceps nutans</i>	オフィオコルティセプス
ハナサナギタケ	<i>Raecilomyces tenuipes</i>	ノムシタケ
ナガエノスギタケ	<i>Hebeloma radicosum</i>	ヒメノガステル
オオキツネタケ	<i>Laccaria bicolor</i>	ヒドナギウム
エビタケ	<i>Ganoderma tsunodae</i>	タマチヨレイタケ
アシグロタケ	<i>Polyporellus badius</i>	タマチヨレイタケ
クチキトサカタケ	<i>Ascoclavulina sakaii</i>	ビョウタケ
オオミヤマトンビマイ	<i>Bondarzewia berkeleyi</i>	タマチヨレイタケ
チャツムタケ	<i>Gymnopilus liquiritiae</i>	未確定
ツガサルノコシカケ	<i>Fomitopsis pinicola</i>	ツガサルノコシカケ
アカヤマドリ	<i>Leccinum extremiorientale</i>	ヌメリイグチ
ハナイグチ	<i>Suillus grevillei</i>	ヌメリイグチ
オニイグチ	<i>Strobilomyces strobilaceus</i>	ヌメリイグチ
ベニテングタケ	<i>Amanita muscaria</i>	テングタケ
コガネテングタケ	<i>Amanita flavipes</i>	テングタケ
チチタケ	<i>Lactarius volemus</i>	ベニタケ
オキナクサハツ	<i>Russula senecis</i>	ベニタケ